

Table with 18 columns representing race numbers (18 to 1) and rows for race details including names, jockeys, and track conditions.

新潟 11 発走 15:45

Table with 18 columns and 10 rows containing race results, including names, jockeys, and finishing positions.

Table with 18 columns and 10 rows containing race results, including names, jockeys, and finishing positions.

Table with 18 columns and 10 rows containing race results, including names, jockeys, and finishing positions.

Table with 18 columns and 10 rows containing race results, including names, jockeys, and finishing positions.

本紙の見解 成長期のヤングマン. Article discussing the performance of young horses and providing analysis for the upcoming races.

相馬の単複運. Article discussing horse racing strategies and providing information on single and multiple bets.

馬名	馬主	調教師	騎手	斤量	着順	タイム
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20

中央競馬 小倉で巻き返す
 梅雨時の中央と真夏の新潟は馬場の質が正反対。中京記念の好走馬は中京記念で高すぎるので新潟の閑屋記念では消し。というのが近年のセオリーだが、今年は少々怪しい要素がある。それは中京記念が(タイム面)あまりにもレベルが低いこと。今年の中央記念で上位に来た馬は、例年の中央記念で上位に

来なかった可能性があり、したがって閑屋記念で好走してしまふ可能性がある。中京記念は新馬も小倉も前走が7月の中京だった馬の取捨が鍵となる。ニシノラッシュ(小倉10R)の前走は中京6日目の12Rで完全な外伸び馬場。自身は先行策から直線で外に出しておりコース取りの不利益はなかったが、そもそもそのような掘れた力の要る馬場は合わない(前々走の阪神も含めて)坂も良く走るのである。平坦小倉の良馬場で巻き返す。

勝負の一手
 中京記念は残り百で敢然と先頭に立ったが、外から勝ち馬の強襲を受けての惜敗。ただ、近走の安定感を目を引くものがあり、地力をつけているのは確か。当舞台は新潟2歳S③着、OP谷川岳S勝ちなど実績十分。14歳で天逝した父に重賞勝ちのタイトルをプレゼントしたいところ。

展開の読みは自分流に考える
 しかんない。みんなが(騎手も)別々のことを考えている。内田博⑩は陣営の希望もあり58kgだから行く。転脱して田辺がテン乗り②も不振脱出は行くが策か。牝馬の⑤ 横山典⑧も行って不思議ない。あとは切れぬ⑩が先行策か。人気の④⑦⑩より前に位置する馬の残り目が、近年の伏兵連対のお決まりのパターンである。ただ、行って欲しい馬が控えてはその時点で外れなので、本当の中心馬は変に下げずに好位差しに出られるはずの馬。牝馬⑦マジックタイムは、父ハーツクライに先行策を取り入れて世界に進出することに成功したルメール騎乗が魅力。父ハーツクライは、その母アイリッシュダンスが新潟記念など新潟3勝の平坦巧者。産駒のジャスタウェイも新潟出身。マジックタイムの母は新潟1600mで新馬勝ち。祖母の半弟クリスザレイブは01年の閑屋記念を1分32秒2で2着し、新潟(2100)の快速馬。ルメール騎手が5く6番手につけ、2走前のような形で平坦適性を引き出すシーンを想像したい。(柏木)

閑屋記念出走馬の成績
 21年ライオンサット ⑤ 7着
 22年スマイルジャック ⑦ 12着
 24年スマイルジャック ⑧ 6着
 26年ドナウブルー ⑩ 10着
 27年クラレント ⑩ 10着
 エキストラエンド ⑩ 9着
 サトノギヤラント ⑩ 8着
 ※着順は上が閑屋記念、下が閑屋記念

閑屋記念出走馬の成績
 21年ライオンサット ⑤ 7着
 22年スマイルジャック ⑦ 12着
 24年スマイルジャック ⑧ 6着
 26年ドナウブルー ⑩ 10着
 27年クラレント ⑩ 10着
 エキストラエンド ⑩ 9着
 サトノギヤラント ⑩ 8着
 ※着順は上が閑屋記念、下が閑屋記念

2週続けて荒れた新馬戦
 新潟2日目は3連単150万円、新潟4日目は3連単420万円。経験の浅い2歳戦にはどにかイ宝が眠っています。というわけで狙いは①Rからハングリベン。競る形になった初戦の前半3ハロンは33秒8と同日のメイン(準オープン)より速い流れ。勝ち馬は次走、函館2歳Sで③着に好走し、レベルの高い一戦です。好位外から前を捕まえに行っている失速も納得、見せつけたスピード能力で押し切りを狙います。

閑屋記念もスローペースが珍しくなりました
 今年も出走するレッドアリアンがゆっくりハナに立った昨年は、前後半47秒9-44秒7。1分32秒6。前年1000m通過59秒3は、同開催の500mより14秒も遅かった。上が33秒3-11秒4で逃げ切っている。特異な例ではなく、レコードの1分31秒5が記録された12年も、バランスは「47秒0-44秒5」。上がり32秒8である。直線 上がり32秒前後で突っ込めば届くコースだから、バランスはスローでもOKだが、もう6年も連続して四角で2く3番手より前にいた馬が決まって連対している。鋭く切れる平坦巧者を探す手はあるが、新潟芝の幅員はJRAで一番狭い25mなので、昨年のサトノギヤラントのようにどこにも行く場所がなく、立ち上がり馬が必ず出現する。先行して粘る馬を探して軸の1頭にすることがある。

展開の読みは自分流に考える
 しかんない。みんなが(騎手も)別々のことを考えている。内田博⑩は陣営の希望もあり58kgだから行く。転脱して田辺がテン乗り②も不振脱出は行くが策か。牝馬の⑤ 横山典⑧も行って不思議ない。あとは切れぬ⑩が先行策か。人気の④⑦⑩より前に位置する馬の残り目が、近年の伏兵連対のお決まりのパターンである。ただ、行って欲しい馬が控えてはその時点で外れなので、本当の中心馬は変に下げずに好位差しに出られるはずの馬。牝馬⑦マジックタイムは、父ハーツクライに先行策を取り入れて世界に進出することに成功したルメール騎乗が魅力。父ハーツクライは、その母アイリッシュダンスが新潟記念など新潟3勝の平坦巧者。産駒のジャスタウェイも新潟出身。マジックタイムの母は新潟1600mで新馬勝ち。祖母の半弟クリスザレイブは01年の閑屋記念を1分32秒2で2着し、新潟(2100)の快速馬。ルメール騎手が5く6番手につけ、2走前のような形で平坦適性を引き出すシーンを想像したい。(柏木)

競馬人情 吉川良
 2016年10月5日。テレビで体操の内村航平の演技を見て、私はシンボリックドルフやレイシーンを思いつく。優勝するレースシーンを思い浮かべていることがある。凄いな。個人総合決勝で内村がベルニャエフに負けそうだった。内村が負けるのを見るのは嫌だなと思いつつ、ベルニャエフも、もう、うれしいというより、幸せです。優勝インタビューでの内村航平の表情とコメントは、鉄棒の演技と同じくらいに凄いなと思つた。ごめん、話が馬券になる。そうなのだ、馬券が当たると、うれしいというより、幸せになるんだよね。閑屋記念はラングレー狙い。馬単⑨⑩、⑩①⑦へ。エルトムSはショウナンアポロンを狙う。馬単⑩から、⑤、⑩、⑫へ。

11R 3連単	11R 3連複
71017 56.3	4717 15.4
71717 57.2	7117 16.0
11717 70.1	4711 19.4
7174 70.5	4117 32.3
7417 74.8	4617 36.8
1174 75.0	6717 38.4
7114 76.8	6711 39.6
7411 80.5	4617 44.1
1774 86.0	7911 46.0
1711 86.4	7917 48.6
1177 94.7	7112 56.1
1711 100.5	4611 57.6
4717 112.6	7121 61.2
1147 114.9	4712 64.3
746 116.7	6117 64.5
1747 117.3	479 65.1
4711 131.9	4217 80.4
1176 132.2	9117 80.5
7176 135.1	1127 82.3
4177 136.3	4112 90.6
7116 143.5	4917 91.6
1776 154.3	679 95.8
7119 159.0	4911 109.2
1174 161.2	7101 116.2
4117 167.8	469 116.7

《払戻し有効期限は60日間》
 勝馬投票券の有効期限は60日間となっております。ご注意ください。JRA 日本中央競馬会